

春、一番の観察会

オオムラサキの観察 9

春の気配が感じられるようになってきましたが、虫たちは無事、厳しい冬を越すことができたでしょうか。

春、一番のオオムラサキを観察します。
また、甘酒で春の訪れを祝いましょう。

開催日時 3月24日（日）
午前10時から12時まで
講師 朝日竹夫（自然とオオムラサキに親しむ会）
定員 20名
開催場所 オオムラサキ自然公園
持ちもの 汚れても良い服装、防寒着

廃品で作った虫たち



はやがわり虫の作品展

廃品や身近なもので作った面白くてかわいい虫たちを約150点展示します。近藤先生が命をふき込んだ虫たちに出会ってください。
（作り方も教えます。）

開催期間 1月27日（日）から
4月7日（日）まで
開催場所 オオムラサキセンター
協力 近藤芳弘氏（造形作家）
「アレコレ 虫にはやがわり」道出版著

イベント情報

里山にふれる

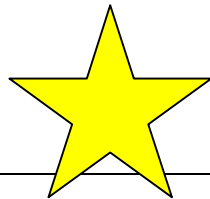
切り出した原木にきのこの菌を植え込んでみよう。

開催日時 3月10日（日）
午前10時から12時まで
協力 秋山種菌
定員 30名
参加料 無料
開催場所 オオムラサキ自然公園
持ちもの かなづち、きづち、ドリル
（ある方は）汚れても良い服装、防寒着

世界のイロムシ展

赤や青など、色とりどりの
美しい甲虫120種170点
を展示します。

開催期間
3月23日（土）から
5月26日（日）まで
開催場所
長坂町オオムラサキセンター



お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

オオムラサキ通信

No.46

発行：平成14年2月27日
編集：長坂町オオムラサキセンター
〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
TEL&Fax 0551-32-6648

オオムラサキ
最新情報

オオムラサキの4齢幼虫



春よ 来い！！

* * * * *

長坂の里山にも春が訪れはじめています。梅の花は白い花びらを少しづつ広げています。たんぽぽの花がなんとなく力強く見えます。オオムラサキの好きなエノキはまだ硬いつぼみですが、その根元に眠る幼虫たちは、確実に春の息吹を感じ取っています。落ち葉の下で少しづつ動いています。昨日めくった時、落ち葉にしっかりつかまっていた幼虫が、今日は見当たりません。エノキの幹に近づいていました。幼虫たちは暖かさばかりでなく、日の光も感じとっているようです。

昨年12月に生態観察施設「びばりうむ」内の幼虫の数をかぞえてみたら、1008匹いました。一番多くいた木は入口を入ってすぐの高さ4メートルくらいの枝が広がったエノキです。200匹以上いました。昨年の夏、この木の周りに発酵した果物をたくさん置いておいたためかもしれません。しかし、年を越してからその木の下を調べましたが、幼虫たちにあまり出会えませんでした。どうしたんでしょう。

7年前に植えたエノキの根元で今年は初めて越冬幼虫をみかけました。

加藤登紀子さん ありがとう。

「第二回 子ども環境文化まつり」の一環として、2002年2月22日、長坂町において国連環境計画親善大使である加藤登紀子さんを招き、「唄と語りの会」を開催しました。

登紀子さんは、アフリカの子守唄をもとにした唄などを熱唱し、唄の間のトークでは自らが体験した貧しい国でのことや地球環境への思いを子供たちに問いかけるように話してくれました。

後半には長坂中学校生徒約300名と一緒に「シーズン・イン・ザ・フィールズ」を大合唱し、子どもと登紀子さんが一体となったコンサートとなりました。

登紀子さんが唄い終わり、会場を見ると割れんばかりの拍手の向うに見える子供たちの目は輝き、登紀子さんの唄が彼らの心にしっかりと届いたようでした。

登紀子さん、ありがとうございました。

「シーズン・イン・ザ・フィールズ」を大合唱



オオムラサキ自然公園の様子

寒い日と暖かい日が交互にやってきて、春の足踏みのようです。春が一步一步、確実に近づいているのですね。そんなオオムラサキ自然公園にぜひ、来て下さい。それではオオムラサキ自然公園を紹介しましょう。

<昆虫たちの様子>

足元で、もそ・もそ動く生きものが多くなってきました。でもクモしか見つからない私はのろまなのでしょうか？

<鳥たちの姿>

足元に落ちている鳥たちのフンが冬より色鮮やかになったような気がします。暖かくなってきたので食材も増えてきたのではないのでしょうか？！

<春を感じはじめた草木>

スミレが背を低くしたまま咲き始めました。用心深く寒さが戻っても大丈夫のように・・・。

マンサク、ダンコウバイ、タンポポ、黄色い花たちが目立ちます。落ち葉の間や土の中から顔を出す草の芽。フキノトウ、ヤブカンゾウ、ヨモギ・・・あれっ食べられる野草ばかりあがってしまった。冬芽が大きくふくらんできました。いつ、はじめて芽が顔を出すのかを心待ちにしている毎日です。

春は日の光で香がよくたつのか？！歩いているといい香があらこちらからします。梅の香・・・。草の匂い・・・。

「びばりうむ 長坂」の中で見つけたよ！！



何だろうとゆすってみたら

小さなクモがいっぱい出てきた。



宇宙虫？ピカピカ虫！？

「あれっ虫にはやがわり」工作教室実施報告

身近なものや廃品を使い、昆虫を作ってみようと工作教室をオオムラサキセンターで開催しました。

参加した親子15名は基本となる「スプーン虫」の指導を受け、作った後に、思い思いに廃品を使って「宇宙虫」「ピカピカ虫」・・・などいろいろな虫を作っていました。

中には持ち帰るための箱に花や草といったものを廃品で作り、飾って工夫している子どももいました。

細かいところは親に手伝ってもらいながら作っていましたが、子供たちの想像力の素晴らしさには驚いてしまいます。

オオムラサキセンターではいつでも工作できるようになっています。近藤先生が作った虫たちを展示してありますので見に来ながらぜひ、作りに来て下さい。

工作教室の様子



炭窯の中で！！

「炭焼き&焼き芋大会」実施報告

オオムラサキ自然公園内に里山を守る会の人たちが築いた炭窯を活用しての炭焼き体験が2月24日(日)開催されました。折から天気はポカポカ陽気で汗ばむほどでした。

まず、講師の安藤義樹さんから、炭焼きに関する詳しい説明をいただきました。安藤さんは森林インストラクターとして、古老とともに何度も炭焼きの経験をしておられます。参加者全員が窯口に集まり、炭材の立て込み方の指導を受け、早速交替で窯に入り立て込みを体験しました。小学生も進んで入りました。窯は二日間の焚き火で熱く、良い炭の焼ける条件である炭材をすき間なく真直ぐに立てるのに苦労しました。外の人たちは重い炭材を手渡しで運びました。結局、作業が終わったのが4時過ぎでしたので、火入れは後日となりました。

参加した人達の意見は、「ぜひ親子で炭焼きをやりたい。」「昔見た懐かしい炭焼きの様子を子どもに見せてやりたかった。」など親子の触れ合いに満ちた、楽しい1日でした。

炭焼きと焼き芋大会の様子



- * 窯の中に原木を火のまわり方などを考えて並べることも大切な作業・・・。
- * 炭は1日ではできません。何日もかけて作るので今現在も炭は窯の中です。

郵送切手の納入について

皆様には暖かいご支援、ご協力をいただきまして、オオムラサキ通信も46号を発行するまでになりました。ありがとうございました。

平成14年度「オオムラサキ通信」を希望される方は、郵送切手を納入してください。(オオムラサキセンターへ住所、氏名、電話番号を必ず記入の上、80円切手を12枚 お送りください。)これからもより良い通信を目指して職員一同、頑張っていきたいと思っております。

今後よろしくお願いいたします。